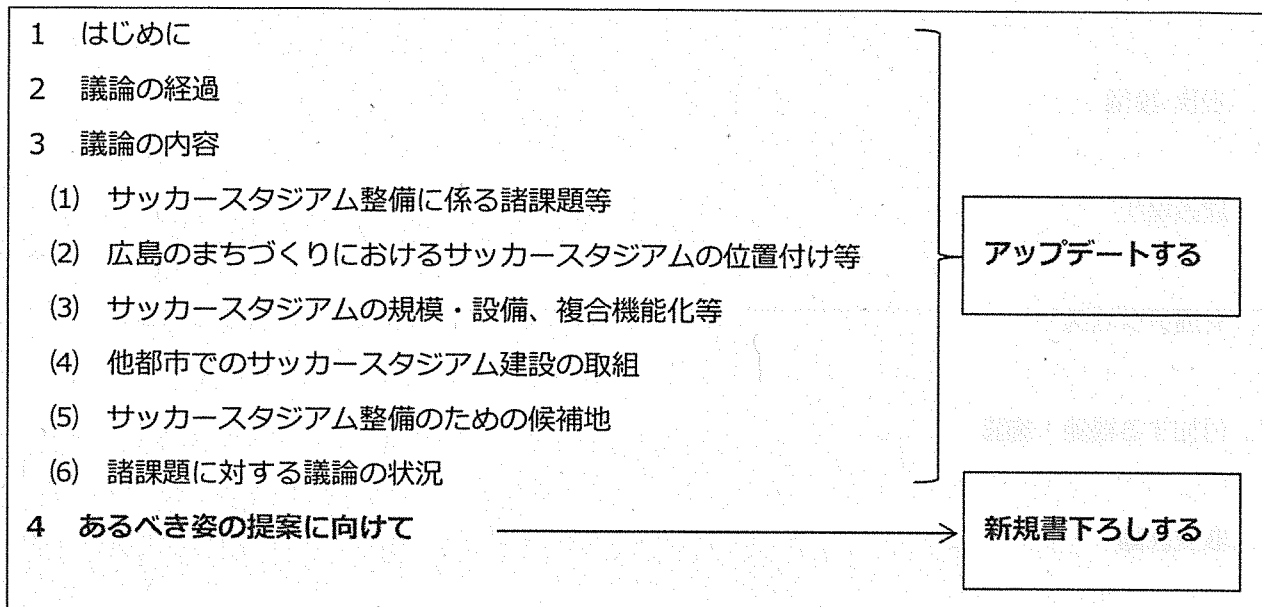


成果品である「サッカースタジアムのあるべき姿（仮称）」

I. 全体構成の考え方

以下の構成からなる「中間取りまとめ」を完成させ「最終取りまとめ」とする作業と考える。



II. 「中間取りまとめ」における「4 あるべき姿の提案に向けて」の内容

4 あるべき姿の提案に向けて

昨年6月以降、本協議会において議論を重ね、今回の中間取りまとめまでに、広島におけるサッカースタジアム整備のための候補地を5か所に絞り込んだところである。

これまでの議論を踏まえ、今後、広島に相応しいサッカースタジアムの規模・設備、建設場所、交通アクセス、付加する機能・施設、建設主体、管理運営方法（運営主体）、収支計画、経済波及効果などについて、サッカー競技から見た観点も考慮し、具体的に議論していく必要がある。

このため、県民・市民をはじめ関わりのある人々の意見に耳を傾けつつ、市場分析を踏まえた適正なサッカースタジアムの規模や複合機能、スタジアムのイメージ、建設のための資金調達やサッカースタジアムの管理運営方法等に関する実現可能性の調査などを行い、更に候補地を絞り込みながら議論を深めていく。

Ⅲ. 「サッカースタジアムのあるべき姿（仮称）」の構成（案）

下記の事項につき、これまでの検討結果を反映させる。

0. コンセプト

1. 規模・設備

2. 建設場所

3. 交通アクセス

3. 付加する機能・施設

4. 収支計画

5. 事業主体・建設主体

6. 管理運営方法（運営主体）

7. 経済波及効果

8. まとめ（むすび）

以上